



西川中だより

第 117 号

令和 2 年 11 月 12 日

西川町立西川中学校
校長 齊藤 晃子

10 月 24 日、西川中学校の学校祭である「西川祭」が開催されました。多くの保護者の方々がご来校する中、「開祭式」に続いて「吹奏楽演奏」、各学年の「総合発表」、「合唱コンクール」が行われました。

西川中生は、実行委員会を中心に係を組織し、一人一役で準備を進めてきました。この日に向けて装飾された校舎には、美術作品の展示、総合的な学習の時間の研究成果、健康委員会調査の展示もなされ、これまでの活動や学習の成果を披露する 1 日となりました。



絆を深める西川祭に！(開祭式あいさつより)

西川祭実行委員長 渋谷 竜聖

今年の西川祭スローガンは、「Soul～繋がる絆～」です。体育祭スローガンの Spirit にも Soul と同様、「気持ち」・「魂」という意味がありますが、西川祭スローガンの Soul には一人ひとりの気持ちを合わせようという思いを込めました。

例年より遅れて始まった西川祭に向けての活動に、最初の頃は不安でした。しかし、校内のあちこちで、西川中生が西川祭のイメージについて話し合ったり、係活動を協力して行ったりと、校内全体が西川祭の色に染まっていくのを見て、みんなが西川祭を成功させることができるという自信が生まれました。

そして、皆さんが頑張ってきたことの 1 つには「合唱」もあります。西川祭の目玉である合唱コンクールに向け、どのクラスも練習を重ねてきたことと思います。「合唱を通して絆を深めよう」という目標の下、西川中生徒会三本柱の 1 つとして頑張ってきた成果を体育館中に響かせましょう。

いよいよ西川祭が開催します。心に残るすばらしい西川祭にしましょう。

いじめアンケート ご協力ありがとうございました

10 月のいじめアンケートへのご協力ありがとうございました。下記の件等について、対応をしています。

<生徒アンケートより>

1 年 1 件 (悪口を言われる、物を隠された)

2 年生 2 件 (ひやかし・からかい、悪口を言われ、無視される)

<保護者アンケートより>

・部活動での人間関係について心配している。

・教師の言葉かけに子どもがプレッシャーを感じている。毎日精一杯生活している生徒の中には言葉にしなくても苦しい思いをしている生徒がいる。考えてほしい。

3年**10/28～10/30****「震災」と「東北文化」について学ぶ修学旅行**

10月28日～30日に、西川中3年生は岩手方面に修学旅行に行きました。南三陸町では、卒業式の前日に被災したという中学校の跡地に立ち、語り部の方からお話を聞きました。西川中生は、想定を越える高さの津波が地形の複雑さから山からも押し寄せたことを聞き、災害に備えることの大変さを改めて真剣に考えている様子でした。

2日目は、盛岡手作り村で、陶器づくり、郷土玩具、機織り、竹細工、陶器絵付けなどそれぞれが伝統工芸づくりの体験を行いました。ホテルでは、班毎に研修を振り返り、壁新聞にまとめる活動も行ったところです。

3日目には宮沢賢治童話村、紅葉の美しい毛越寺、中尊寺を巡り、東北の文化について学ぶ旅行となりました。

**2年****11/7 新入生オリエンテーション****～新入生の皆さん、ようこそ西川中へ～**

11月7日、令和3年度入学生の新入生オリエンテーションが行われました。2年生は、体育館で新入生に学校生活を紹介する活動を行いました。PP資料を用いて説明した他、部活動ごとに実演を交えた活動紹介、合唱を披露し、グループに分かれて新入生の心配に応える交流も行いました。新入生を迎え、最上級生になる心構えができてきました。

1年**10/8 秋の月山散策****～月山の魅力に迫る～**

1年生は10月8日に、月山散策を行いました。今年度は月山の魅力に迫るために、各グループで「水」、「木・土」、「生物」に関連するテーマを設定し、事前学習を行いました。当日はテーマについてさらに詳しく学ぶため、ガイドさんのサポートを受けながら、熱心に観察し、質問しながら散策しました。

